

<記述欄に寄せられた質問・意見・要望について>

1. 文化祭の準備期間ですが、もう少しゆとりある期間を設けていただけたらと思いました。壁新聞の担当で、ギリギリまで完成に向けて取り組んでいたのも、大変そうな様子もみられましたので、夏休み期間等、活動できたりもよいのかな？と。次年度以降、ご検討よろしくお願い致します。いつも熱心なご指導ありがとうございます。

学校より

貴重なご意見、および温かいお言葉ありがとうございます。また、文化祭に向けての取組について、一生懸命に取り組まれたお子様の様子もお知らせいただきありがとうございました。

文化祭の取組は、7月中に生徒会役員から学級への提案がなされ、1学期中に第1回目の係会議を行いました。ご指摘のあった「壁新聞の作成」は今年度から新たに加えられた活動ということもあり、試行錯誤があった分、思うように作業が進まなかったクラスもあったかもしれません。次年度以降、余裕を持った取組を行い、生徒の活動がより充実したものとなるよう、準備期間・活動時間などを調整、検討してまいります。

2. いじめに対しての教育を充実してほしい。

学校より

貴重なご意見、ありがとうございます。

まず、「いじめに対しての教育」について、現在、小樽市および本校で実施しているものをご紹介します。

本校では、「小樽市立西陵中学校いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体で組織的な取組を行っています。いじめの実態調査としては、①年2回の「いじめアンケート」、②教育相談に向けてのアンケートを実施しております。このアンケートも含め、お子様から訴えのあった件については、「いじめ対策組織」で情報共有を行ったうえで、ただちに状況の確認、聞き取り調査、および指導等を行い、問題が解決されるよう取組を行っています。

また、日常の取組としましては、①各学級における「絶対にいじめを許さない」雰囲気づくり、説諭、②外部からゲストティーチャーを招へいするなど、道徳の授業で善悪を「考え」「行動できる」生徒の育成、③少しでも気にかかる行動や様子があった場合の教職員による声かけ、見守り、教職員間の情報共有などを行っています。

しかし、さらに充実できる部分があるかもしれません。上記の他、生徒会役員が参加している「いじめ防止サミット」で話し合われた内容をわかりやすく全校生徒に還流するなど、生徒自身が自分事として考えられるような取組を検討してまいります。いじめは人として決して許されない行為であるということを大前提に、学校、家庭、地域が一体となって継続して、未然防止、早期発見、早期対応に努めなければなりません。今後も、本校の教育活動を見守っていただきつつ、より一層のご協力をお願いするとともに、何かお気づきの点がありましたらご意見をお寄せいただければと思います。